

稲毛区防災公開講座**「地震によるリスクを知って、命を守るタイムラインを考える」を開催します**

稲毛区では、地震発生時に住民の皆さまが慌てず避難ができるよう、「いつ」「何をするのか」を事前にルール化するタイムライン（防災行動計画）の重要性を学ぶ防災公開講座「地震によるリスクを知って、命を守るタイムラインを考える」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨

千葉市を含む首都圏では、今後、大規模な地震が高い確率で発生すると言われていています。令和6年元旦に発生した能登半島地震では、約8割の人が車で避難したため、主要な道路で渋滞が発生したほか、避難所の鍵を持つ担当者の到着の遅れや備蓄品の不足などの課題が指摘されています。

これらの事例を踏まえ、稲毛区では、大規模な地震が発生した際に慌てず適切な行動がとれるよう、本講座を通じ、住民の防災意識の向上を図ります。

2 講師

松尾 一郎 氏（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授）

3 日時

令和8年1月10日（土）14：00～16：00（予定）

4 会場

穴川コミュニティセンター1階 多目的室
（稲毛区穴川4-12-3）

5 対象者

市内在住・在勤・在学の方

※参加者事前募集済み。また、先着30人まで当日申し込みでの参加が可能です。



松尾 一郎 氏

6 取材申し込み

1月9日（金）17：00までに稲毛区地域づくり支援課（電話284-6176）へご連絡ください。

<参考>講師 松尾 一郎 氏プロフィール

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授
専門分野 防災行動学、コミュニティ防災、危機管理、防災まちづくり

○主な災害調査研究

- ・「災害から命を守る」ことをライフワークに実務研究者として30年。
- ・風水害から地震、津波、火山災害など国内外の災害について調査研究を実施。
- ・日本におけるタイムライン提唱者として、多くのタイムライン防災を推進している。

○主な社会貢献

- ・東京都板橋区、足立区 総合防災アドバイザー
- ・タイムライン防災推進機構 機構長・最高技術顧問
- ・水害時報道リスクコミュニケーション懇談会座長（国土交通省）
- ・球磨川水害タイムライン検討会座長（八代市、球磨村、人吉市）
- ・避難所避難生活学会理事 等

○主な著書

- ・「津波から人びとを救った稲むらの火歴史マンガ浜口梧陵伝」共著 文溪堂（2005年）
- ・「地球温暖化図鑑」共著 文溪堂（2010年）
- ・「タイムライン日本の防災対策が変わる」編著 日刊建設工業新聞社（2016年）
- ・「風水害と防災の事典」編集委員長 丸善出版（2021年） 等